

コロ 4 章 7～8 節 ティキコをあなたがたのもとに遣わすのは、ほかでもなく、あなたがたが 私 たちの様子を 知って、心に 励ましを受けるためです。(8)

神様はわざわざ時代に備えるために、Remnant に霊的サミットの祝福をくださいました。Remnant は、時間と空間を超越する御座の力を祈りで味わうことができます。

1 つ目、Remnant には成功の基準があります。ヨセフはエジプトという強大国の総理になりました。しかし、ヨセフの*本業は世界を生かす世界福音化でした。Remnant は、本業と*副業をはっきりと知ってください。2 つ目、Remnant の地の果てがあります。ヨセフは、幼いときに太陽と月と星がおじぎをする夢を見ました。世界福音化をあらかじめ見たのです。未来を見たことこそが地の果てです。Remnant が現場で祈りによって御座の力を味わえば、神様がくださる契約の旅を進むようになります。3 つ目、神様は Remnant を生かす者として呼ばれました。現場に行けば、Remnant を攻撃することばを聞くことができるでしょう。まったく傷つくことなく、かえってその人のために心から祈りましょう。その人の事情を知って生かす疎通ができるように、神様がしてくさるでしょう。

Remnant は神様との関係の中で契約を回復しましょう。その契約を持ってひとりで集 中して祈る時間を持てば、必ず神様が世界福音化の主役としてくださいます。

*本業：メインの職業のことです。

*副業：本業ではない、残りの時間を利用して持つ職業のことです。

神様、わざわざ時代に備える霊的サミットの祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

使 1 章 8 節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。

Remnant が旅を進んでいると、ターニングポイントを迎える時があります。そのターニングポイントが道しるべです。そこで神の国のことが成し遂げられるのを見ます。そして、Remnant の地の果ては会堂です。この契約をよく覚えて心にとどめましょう。

1 つ目、パウロはテサロニケという都市を重要に思っていました。ローマに行く重要な道があったからです。そこで会堂に入って、イエス様がなぜ十字架で死ななければならなかったのか、なぜ復活しなければならなかったのかを説明しました。2 つ目、パウロとプリスカ夫婦は、安息日ごとに会堂に入りました。会堂でキリストの日である主日、礼拝と祈りについて伝えました。そして、アポロにカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋で働かれた聖霊の恵みを伝えました。3 つ目、パウロは会堂に入る前に、マルコの屋上の部屋の聖霊の働きを先に味わいました。そして、会堂で大胆に神の国を 3 か月の間、説明しました。その後、ティラノ運動が起こりました。パウロはそこでローマも見なければならぬという重要な告白をしました。

Remnant は暗闇に覆われた 237 か国と 5 千種族に、ただキリストの光を照らします。この契約を堅く心に抱きながら、学校に神の国が臨むように祈りましょう。

神様、パウロが会堂で Remnant に伝えた神の国が、私 がいる現場に臨みますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

21 (水)	じんせい　みち　でんどう　で　し 人生ターニングポイントの道しるべと伝道弟子
	使1章1～8節　イエスは苦しみを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。(3)
	キリストによって三位一体の神様が私のやぐらとなくなりました。三位一体の神様が私たちの人生と世界福音化の道を導いてくださいます。この事実を祈りで味わいましょう。伝道弟子である Remnant がすることがあります。
	1つ目、福音を正しく理解するように祈りましょう。イエス・キリストは、まことの王としてサタンの権威に勝たれ、まことの祭司として私たちをわざわざから解放してくださいました。そして、まことの預言者として、神様がいない地獄の背景から、神様に会う道となくなりました。このキリストによってだけ神の国が臨み、世界福音化が成されます。2つ目、福音の契約を握って祈りましょう。そのとき、全世界237か国の門が開かれて、現場に弟子が起き始めます。また、礼拝の祝福を分らせてくださり、献金と光の経済を回復してくださいます。このことが毎日現場で起こります。3つ目、次世代のために祈りましょう。イエス様が十字架を負って行かれるときに、「わたしのために泣いてはいけません。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのために泣きなさい」と言われました。Remnant は次世代に正確な福音と礼拝の祝福、神の国の答えを伝えましょう。
	Remnant は福音を正しく理解して、福音とその福音を伝える次世代のために祈りましょう。

神様、福音を正しく理解して、その契約と次世代のために祈る Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

22 (木)	かみさま　せいかつ　じゅうじゅん　なに 神様にささげる生活/ 従順とは何か
	ロマ 12章 1～3節、ヨハ 14章 21節　ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。(ロマ 12:1)
	Remnant は神様のみことばの中にあることを回復して、その道を進みましょう。Remnant が進む道は、どんな道でしょうか。
	1つ目、Remnant は神様にささげる生活をしましょう。私たちがささげることができるのは、祈りと伝道です。まず、私たちの生活と問題の中で、祈りの力を見つけましょう。祈りはすべてであり、御座を動かす霊的科学です。Remnant が祈りを味わえば、霊的に成長した人になって、伝道が自然に成り立つのを見ます。神様にしたがって行って、ともにおられることを味わっていると、世界が生かされるのを見ます。3つ目、Remnant は神様に従順にしましょう。神様の計画とみこころを悟って求めることが従順です。神様は私たちが考えることより、もっと良いことを与えてくださいます。これを信じれば、神様のみこころを発見して献身することができます。神様のみこころは、みことばによって教えてもらいます。そのとき、人々を生かす平和と善を選択するようになります。神様の最も大きなみこころは、赦しと救い、福音を伝えることです。Remnant は神様に従順にするために、霊的な目が開かれるように祈りましょう。それでこそ、神様のみことばに従順にすることができます。
	Remnant は神様がくださった祝福を祈りで味わって、私の考え、水準が必要ない神様のみことばに従順にする生活になるように祈りましょう。

神様、神様に私の生活をささげて従順にする Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

23
(金)

せいけつ　しょうり　せいかつ　かみさま　よろこ　い　かた
聖潔と勝利の生活/神様を喜ばせる生き方

ピリ4章6〜7節、ヘブ11章1〜6節　さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。(ヘブ11:1〜3)

神様に従順にすることには目的があります。その目的を知って、神様を喜ばせる生き方が何なのかを知って、その生き方をするように祈りましょう。

1つ目、従順の目的は、聖潔と勝利の生活です。聖潔は、キリストの心を持つことです。その心で人を助けましょう。まず先に偶像崇拝する人を助けましょう。その人々は、かなり昔から家系がサタンに捕えられてきたのです。そして、みだらな行いや犯罪を犯す凶悪犯を助けましょう。その人々は、暗闇の中で縛られている状態なのです。この背景を分かってこそ、生かすことができます。まず心、たましいを癒やして、死の律法から解放してくださった神様のみことばを悟るように祈ってあげましょう。そして、聖霊に満たされて、主といつもともにいて、その力にしたがって世の中を生かすように祈りましょう。2つ目、神様を喜ばせる生き方は、私がいる現場で私が必ずすることは何なのかを見つけるのです。これが、ただです。すると、唯一性の答えを受けて、挑戦するようになります。それが再創造です。このとき、神様に栄光をささげる目標ができます。すると、神様に人生を任せるくらい正しい信仰が与えられ、その信仰を証しする証人の生活を送るようになります。

キリストの心を持って、神様に栄光をささげる生き方になるように祈りましょう。

神様、神様に従順にして、神様を喜ばせる生き方をする Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

24
(土)

ちから　げんせん　ちから　げんせん　く
力の源泉/力の源泉がどこから来るのか

エレ33章1〜9節　エレミヤがまだ監視の庭に閉じ込められていたとき、再びエレミヤに次のような主のことがあった。「地を造った主、それを形造って堅く立てた主、その名が主である方が言われる。(1-2)

Remnant は世の中を導いていくようになります。しかしそれは、力がない Remnant には不可能なことです。それゆえ、Remnant は世の中を導くために知ることがあります。

1つ目、力の*源泉は神様から始まります。毎日、私が行くすべての所に、そして小さいことでも神様の絶対計画を見つければ良いのです。すると、答えを受けることができます。神様の絶対計画は、信徒の交わりの中から出てきたり、完全な神様のみことばの中から見つけることができます。そして、Remnant は祈りで神様の力を味わって伝えることができます。2つ目、力の源泉は、神様の近くに進むことです。ピリピ4章13節を見れば、「私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです」と言われています。わたしがキリストの中にいれば、力が現れるしかありません。ですから、神様にみことばによって近づいて行きましょう。それゆえ、礼拝をささげて説教を聞くことが重要なのです。そして、みことばを聞いた後には、適用することが重要ですが、適用するということは、みことばを自分の考えではなく、神様のみことばとして受けることです。すると、教会のリーダー、世の中を生かすリーダーの座に神様が導いてくださるでしょう。

Remnant は力の源泉である神様に近づく祈りを続けましょう。

*源泉：あることの根源のことです。

神様、世の中について行かず、神様にしたがって行って神様の力を味わう Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン